



下水道をきっかけに**水**ビジネスにチャレンジしませんか?
GKP未来会が皆さんの可能性を広げます。



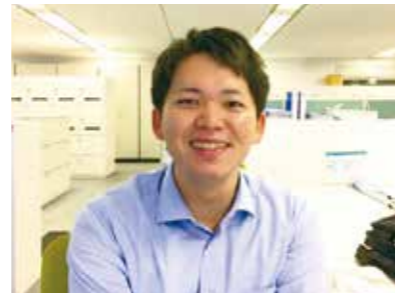
木更津工業高等専門学校 出身
吉久 華野香さん
 (現在 株式会社水コン所属)

GKP未来会のイベントに参加して、下水道の魅力を知るとともに、未来会のメンバーが、誇りを持って仕事をされていることが感じられました。この業界で一緒に働きたい!と思うきっかけとなりました。



豊橋技術科学大学 出身
青島 春花さん
 (現在 メタウォーター(株)所属)

世界的に市場が拡大している下水道という重要な社会基盤を支えるために、官民が連携して新しいビジネスの仕組みを作ることが近年必要となっています。私は専攻分野を活かし、ICTの視点でこのチャレンジングな業界を支援しています。



東京電機大学大学院 出身
下山 隆央さん
 (現在 前澤工業(株)所属)

私は未来会のインターンシップに参加して、縁の下の力持ちである下水道、その仕事としての魅力に気づきこの業界への就職を決めました。維持管理時代に適した製品を現場に提案し「ライフラインを支える使命」を果たしたいと思っています。

どんな企業があるのかな? —

の続きは

こちら



Twitterで
 下水道の最新情報を
 発信しています!



-問い合わせ先-
 下水道広報プラットフォーム 下水道を未来につなげる会
 (通称:GKP未来会)

東京都千代田区内神田2-10-12
 公益社団法人日本下水道協会内
 TEL: 03-6206-0205
 Mail: miraikai@gk-p.jp

※イベント開催や大学訪問、出前講座、施設見学等未来会の活動について興味がある大学等就職担当の皆様からの問い合わせもお待ちしております。

学生の皆さん!

を仕事にしませんか?



約9,982万人



じゅんかん育ち



約110万世帯



約9,000億円

実はスゴイ! 下水道の役割と魅力

スゴイ! 1 水循環の中の下水道

私たちは川などから取った水を水道を通じて利用しています。利用し汚れた水(汚水)は下水道管を通し下水処理場に送りきれいに処理した上で、川や海に戻します。海からは蒸発した水が雲をつくり雨として再び地上に戻り水循環を形成しています。

下水道は水循環の一部として、**汚水を処理**することで川や海などの「水環境を保全」するとともに、「街を清潔に保ち、水辺の創造」に寄与しております。また、雨の日には「街が浸水(※)しないよう」に下水道が**雨水を排除する役割**を果たしています。

※水害統計 平成17~26年の内水氾濫による被害額 合計9,000億円



スゴイ! 2 下水道は宝の山

下水を処理する中で発生する下水泥からバイオガスを抽出し、発電をする取組が行われています。下水泥には**約110万世帯分の電源となりうるポテンシャル**があります。

また、**下水泥は農作物の生育に必要なリンを含んでおり肥料化する取組**が進められています。こうした下水道資源由来の作物を「じゅんかん育ち」としてブランド化し全国で食と下水道の連携(BISTRO下水道)が進められています。この他、**下水から熱を回収し地域冷暖房への活用**がなされていたり、処理した水を**再生水**としてせせらぎへ供給する取組が各地で実施されています。

下水道は資源としても循環を形成し、**資源・エネルギーの供給拠点**として多くの可能性を秘めています。



バイオガスを生成する
横浜市北部汚泥資源化センター



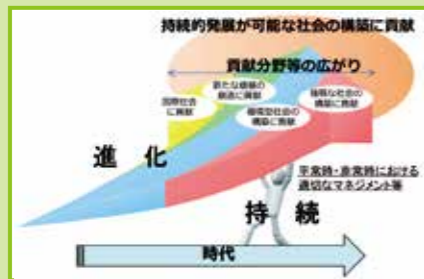
「じゅんかん育ち」の
佐賀産のアスパラ

スゴイ! 3 下水道の使命と持続・進化

社会経済情勢が劇的に変化する中で、下水道は**持続的発展が可能な社会の構築に貢献するという新たな使命**を担っています。

平成28年度末時点で下水道は**約9,982万人**が利用可能になりました。全国で**約47万km**に及ぶ管路が敷設されるなど、膨大なストックが蓄積されています。今後、資産管理のためのマネジメント手法の導入や官民が連携する仕組みの構築、広域化を図るなど、**使命を果たすべく下水道を持続させるための取組**をさらに進めていく必要があります。

あわせて、「水環境の改善」、「資源・エネルギーの利用促進」、「国際貢献」、「気候変動や地震等の災害リスクへの対応」等、**下水道が進化するための取組**も進めていくことが求められています。

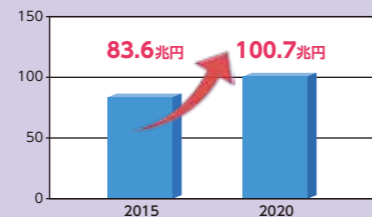


スゴイ! 4 水ビジネスは成長産業

下水道は国民生活を支えるため、**将来も存在し続けるインフラ**です。国内の建設投資規模は**約2兆円**で、道路に次ぐ第2位の社会資本ストックがあり、未来につなげるための大きな管理・更新需要が今後も存在します。

海外での需要はさらに大きいです。国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)では**2030年までに、すべての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成**することが掲げられています。また、2020年には水ビジネスの市場は**100兆円**を超える規模になることが推計されています。

成長し続ける水ビジネスの活躍の場は、国内外にあり、分野としては土木、環境、機械、電気、経営、情報通信、広報マスコミ等多岐にわたります。あなたのニーズに合うフィールドがどこかには必ずあります。



拡大する世界の水ビジネス市場
(Global Water Market 2017, 経済産業省資料より)

水ビジネスとしての 下水道の仕事

成長し続ける水ビジネスの活躍の場は、国内外にあり、分野としては**土木、環境、機械、電気、経営、情報通信、広報マスコミ**等多岐にわたります。あなたが活躍できるフィールドには例えば次のような業種があります。



※その他下水道事業には金融や商社等も関わっています。